

研究と教育のはざままで

多 鹿 秀 継

1972年3月の卒業論文「有意味受容学習の心理」の研究を皮切りに、本年3月の本学紀要の研究までの50年にわたる研究活動、ならびに1976年4月から本年3月までの45年にわたる教育活動の、ひとつの区切りを迎えることになりました。本学に2007年4月に赴任してから本年度13年になりますが、本学児童教育学会が編集・発行している『神戸親和女子大学児童教育学研究』に、今回最初にして最後の筆者の文章が掲載される運びとなりました。ここでは、筆者の「研究と教育のはざままで」のタイトルで、最終講義と類似する内容をごく簡潔に紹介したいと思います。

最初に、筆者の研究内容の広がりや契機となったcritical periodについて、お話しいたします。筆者の研究テーマの関心は、上記の卒業論文の内容からも理解していただけるように、記憶過程の理解にあります。1985年に、その記憶研究のテーマから算数の問題解決のテーマへと、研究テーマについての関心の比重が移りました。その理由として3点を指摘しておきます。

1つは、卒業論文以来研究してきた記憶研究の成果をまとめ、再生と再認の記憶に関する博士論文を前年の5月に提出し、1985年3月に教育学博士の学位を授与されたことです。通常、博士を取得した後は、米国などではポスドクとして新たな研究テーマを考え、研究の飛躍を試みる人が多いようです。それに似た状況といえるでしょう。

2つ目は、その学位授与式から8日後に、米国University of California at Santa Barbara(UCSB)のRich Mayerの研究室に、visiting researcherとして教育心理学の研鑽をおこなったことでした。Mayerは思考や問題解決の専門家で、筆者の興味関心と一致する3歳年長のprofessorです。彼は2000年ころから様々な賞を受賞し、米国のトップ研究者の一人となっています。しかし、当時の彼からは、まったくそのような将来の活躍を予想できませんでした。

3つ目は、本学の前任校である愛知教育大学に1976年4月に赴任し、教員養成の教育心理学の在り方に関心を持っていたことが関係します。教員養成で教育研究する教育心理学とはどのようなものかを、就職当時から考えていました。心理学の「基礎研究と応用研究」の区分からは、教育心理学は応用研究に区分されることが一般的でした。しかし、卒論から博士論文まで筆者のやってきた研究は「基礎研究」と位置づけられますが、教員養成における教育心理学の教育・研究はそれでよいのかといった思いが、常に頭の隅によぎっていました。教育心理学でも基礎研究はあるでしょうし、その成果を授業で伝えることが必要だと考えました。算数問題

解決の研究は、教育心理学の基礎研究として取り組むべき課題として筆者には思われました。

このような背景から、1985年からは、記憶研究と算数問題解決研究の2つのテーマで、さまざまなデータを収集し、分析・考察することになりました。

記憶研究では、研究の比重は軽くなりましたが、教育との関連でテスト効果 (testing effect) の研究を継続しておこなっています。また、2015年までの30年の間、共同企画者の筑波大学(当時)の太田信夫先生と、日本心理学会大会でワークショップやシンポジウムを毎年開催し、世界の記憶研究の潮流と歩調を合わせて(なかなか先んじることはできませんでした)、日本における記憶研究の活性化につながる努力をしました。

他方、算数問題解決の研究では、Mayerとの共同研究も含めてさまざまな算数文章題解決の研究を実施し、90年代に数回にわたって、日本教育心理学会総会の自主シンポジウムで、数や算数問題解決をテーマに当時の宮崎大学の吉田先生と企画・実施してきました。その結果、記憶研究の成果を基礎に、①論理・数学的な知識と言語的な知識の2種類の知識の統合ができると知識の適用が容易になること、②知識の符号化・貯蔵・検索による知識の構成と知識の適用をつなぐ働きとしてのメタ認知の重要性を指摘しました。しかし、研究のゴールとしてメタ認知方略としての自己説明を組み込んだコンピュータソフトの開発はまだまでであり、児童が自在に活用できるソフトの開発への道りは遠いと感じています。

教員養成における教育心理学の授業について、最後にまとめましょう。ここで述べる内容は、なにも教員養成の教育心理学の授業に限定されるのではなく、広く大学教育の授業にも結びつく内容であると考えています。

教育心理学の授業を通して、筆者は学生に学習と認知の領域の基本となる研究成果や理論・概念の講義を実施しています。つまり、様々な研究の核になる研究成果を、わかりやすく学生に講義することです。しかし、そのことは学生が教育心理学の学習・認知にかかわるこまごまとした理論・概念を記憶することではなく、それらの基になるものの見方・考え方を養うことに力点を置いているものであり、学習した様々な理論・概念を関連づけて、自分で考える習慣を形成してもらうことをゴールに授業を実施しています。

一例として、ATIの概念の理解の授業を取り上げましょう。ATIは適性処遇交互作用と訳されています。でも、それがどのような意味でどのような内容かを覚えてもらうことが重要ではありません。ATIの概念から、たとえ授業内容がわからない児童がいても、その児童は学習する力が低いのではなく、先生の指導方法がその児童にあわないかもしれないと考えること、児童の適性は当該の授業とマッチするのかどうかを考え、別の指導法を先生は工夫することが必要でもあるといったことを、ATIの受講している学生に理解してもらうことを授業では狙っています。

そのようなことから、教育心理学の授業を通して、学生には様々な理論・概念の学習を通して広い視野から知識の体系化を目指してもらうこと、言い換えればcritical thinkingのできる

学生になってもraitaiことが授業のゴールとなります。critical thinkingのできる学生とは、学習した多様な理論・概念を関連づけることができ、自分で考える習慣を形成する学生です。筆者は、そのために職業教育の知識（教育技術）を教える授業にはせず、獲得した知識の根を深く太く張ることのできる支援をする授業を目指したいと考えていました。

略歴

（学歴）

- 1972年3月 神戸大学教育学部（教育心理学専攻）卒業
- 1974年3月 京都大学大学院教育学研究科修士課程（教育心理学専攻）修了
- 1976年3月 京都大学大学院教育学研究科博士課程（教育心理学専攻）中退
- 1985年3月 教育学博士の学位授与（京都大学 論教博 第34号）

（職歴）

- 1976年4月 愛知教育大学助手 教育学部
- 1981年1月 愛知教育大学助教授
- 1995年4月 愛知教育大学教授
- 2004年4月 国立大学法人愛知教育大学理事・副学長
- 2005年7月 国立大学法人愛知教育大学教授
- 2007年4月 神戸親和女子大学教授 発達教育学部
- 2019年4月 神戸親和女子大学特任教授
- 2020年4月 神戸親和女子大学特命教授
- 2021年3月 神戸親和女子大学特任教授退職予定

科研費等（研究代表者分のみを記載）

- 多鹿秀継（2014-2017） 基盤研究（C）（一般）「子どもの適応的な算数問題解決能力を育むメタ認知方略活性化システムの開発」
- 多鹿秀継（2011-2014） 基盤研究（C）（一般）「適応的な算数問題解決児童を育むメタ認知方略支援ツールと評価モデルの開発」
- 多鹿秀継・中津櫛男（2009） 神戸親和女子大学出版助成「算数問題解決と転移を促す知識構成の研究」 風間書房
- 多鹿秀継（2008-2011） 基盤研究（C）（一般）「算数問題解決と転移を促す知識構成に関する縦断的研究」
- 多鹿秀継（編）（2008） 神戸親和女子大学出版助成「学習心理学の最先端－学びのしくみを科学する－」 あいり出版
- 多鹿秀継（2003-2006） 基盤研究（B）（2）「子どもの算数問題解決と転移を促す知識の構成

の分析と支援に関する研究]

多鹿秀継 (2001) 平成13年度日本学術振興会外国人招へい研究者 (短期)

Richard E. Mayer (9月1日 - 15日)

多鹿秀継 (代表) (2001-2002) 特定領域研究 (A) (2) 「ネットワークを利用した教員養成系学部のための情報教育教材の開発」

多鹿秀継 (代表) (1998-2000) 文部省教育助成局「教職課程における教育内容・方法の開発研究 (カリキュラム開発研究) 事業」

多鹿秀継 (1998-2001) 基盤研究 (C) (2) 「算数文章題の理解と解決を支援する学習方略の開発と転移に関する継続的研究」

多鹿秀継 (1996-1998) 基盤研究 (C) (2) 「算数問題解決過程の下位分析と解決方略の支援に関する実証的研究」

多鹿秀継 (1996-1997) 研究成果公開促進費 <一般学術図書> 「算数問題解決過程の認知心理学的研究」 風間書房

多鹿秀継 (1994) 平成6年度日本学術振興会外国人招へい研究者 (短期)

Richard E. Mayer (10月1日 - 15日)

多鹿秀継 (1993-1995) 一般研究 (C) 「ハイパーメディアを利用した算数・数学の問題解決過程の分析とモデル化の試み」

Mayer, R.E., & Tajika, H. (1992-1994) Pacific Rim Research Program (米国) 「Teaching of mathematical problem-solving strategies in Japan and the United States」

多鹿秀継 (1991-1992) 一般研究 (C) 「問題解決過程における学習方略の分析とモデル化の試み」

Mayer, R.E., & Tajika, H. (1990-1992) Pacific Rim Research Program (米国) 「Analysis of how students learn to solve mathematics problems in the United States and Japan」

Mayer, R.E., & Tajika, H. (1989-1990) Pacific Rim Research Program (米国) 「Comparison of problem solving and learning strategies of students in the United States and Japan」

多鹿秀継 (1989-1991) 日本電気株式会社研究助成 「記憶の認知モデルの研究」

多鹿秀継 (1988-1989) 研究成果公開促進費 <一般学術図書> 「記憶の検索過程に関する研究」 風間書房

多鹿秀継 (1988-1989) 一般研究 (C) 「知識の貯蔵と検索における個人差の情報処理的分析とモデル化の試み」

多鹿秀継 (1985-1987) 一般研究 (C) 「再生と再認における検索過程のコンピュータ・シミュレーションモデル化の試み」 (在外研究のために辞退)

多鹿秀継 (1981-1982) 奨励研究 (A) 「再生と再認の記憶における符号化教示の影響」

多鹿秀継 (1980-1981) 奨励研究 (A) 「再生と再認の記憶における検索の機能」

多鹿秀継 (1978-1979) 奨励研究 (A) 「再生と再認における記憶の過程」

著書 (分担執筆・翻訳書等を含む)

- 多鹿秀継・上淵 寿・堀田千絵・津田恭充 (2018.07) 読んでわかる教育心理学 サイエンス社 第1章 教育心理学を理解する 1-7頁 第3章 学習の考え方を理解する 31-51頁 第5章 知性の発達と教育を理解する (堀田千絵と共著) 63-84頁 第7章 知識の獲得と活用を理解する 111-131頁 第8章 認知の個人差と教育を理解する 133-153頁
- 丸山総一郎 (編) (2015.03) ストレス学ハンドブック 創元社 第IV部16 学力低下と学習ストレス 363-371頁
- 梅本堯夫・大山正 (編) (2014.12) 心理学への招待 [改訂版] -こころの科学を知る- サイエンス社 第3章 記憶 65-95頁
- 榊原知美 (編) (2014.09) 算数・理科を学ぶ子どもの発達心理学-文化・認知・学習- ミネルヴァ書房 第1章 知識獲得としての学習 3-23頁
- 末田啓二 (編) (2013.04) 心理学の最先端-「こころ」のしくみを解き明かす- あいり出版 1章 心理学とは何か 2-19頁 7章 思考・言語・知能の理解 106-123頁
- 中島義明 (編) (2012.04) 現代心理学 [事例] 事典 朝倉書店 III 認知理論の [適用事例] 第2章 問題解決理論の [適用事例] 181-195頁
- 多鹿秀継 (2010.02) 教育心理学 第2版-より充実した学びのために- 1-224頁 サイエンス社
- 吉田甫・エリック ディコルテ (編) (2009.09) 子どもの論理を活かす授業づくり-デザイン実験の教育実践心理学- 北大路書房 4章 知識の構成を支援する教授介入-算数文章題の解決- 42-56頁
- 多鹿秀継・中津櫛男 (2009.08) 算数問題解決と転移を促す知識構成の研究 1-176頁 風間書房
- 多鹿秀継・南 憲治 (編) (2009.07) 児童心理学の最先端-子どものそだちを科学する- あいり出版 1章 人間の発達と児童期 2-13頁
- 多鹿秀継 (編) (2008.05) 学習心理学の最先端-学びのしくみを科学する- あいり出版 1章 学習心理学とは何か 2-13頁
- 太田信夫・多鹿秀継 (編) (2008.01) 記憶の生涯発達心理学 北大路書房 第1部4章 符号化・検索 38-47頁 第2部4章 符号化・検索 130-140頁 第3部4章 符号化・検索 221-231頁 第4部4章 符号化・検索 307-317頁
- 荒木紀幸 (編) (2007.03) 教育心理学の最先端-自尊感情の育成と学校生活の充実- あいり出版 3章 学習と動機づけ 59-74頁
- 多鹿秀継・竹内謙彰 (編) (2007.03) 発達・学習の心理学 学文社 第1章 発達・学習と

- 学校教育 1-13頁
- 中島義明・繁舩算男・箱田裕司（編）（2005.01）新・心理学の基礎知識 有斐閣 第6章 思考・問題解決 編集担当（175-207頁）、並びに、6-1（177-178頁）、6-2（179頁）、6-4（181頁）の執筆
- 波多野誼余夫・大浦容子・大島 純（編）（2004.03）学習科学 放送大学教育振興会 第7章2-4節 記憶と知識 86-94頁
- Graf, P., & Ohta, N. (Eds.) (2002.09) Lifespan development of human memory. The MIT Press Chapter 7 The role of knowledge in children's memory 127-136頁
- 多鹿秀継（2001.11）教育心理学—「生きる力」を身につけるために 1-175頁 サイエンス社
- Smelser, N. J., & Baltes, P. B. (Editors-in-Chief) (2001.11) International Encyclopedia of the Social & Behavioral Science (24 Vols. + 2 Index Vols.) Cognitive Psychology and Cognitive Science Section Pergamon Recognition memory, Psychology of 12832-12835頁
- 中島義明（編）（2001.10）現代心理学 [理論] 事典 朝倉書店 第三部 認知心理学 第5章 問題解決の理論 329-346頁
- 多鹿秀継・鈴木眞雄（編）（2000.04）発達と学習の心理学 福村出版 1章 発達と学習の理解 9-17頁
- 太田信夫・多鹿秀継（編）（2000.02）記憶研究の最前線 北大路書房 3章 エピソード記憶 45-66頁
- 多鹿秀継（編）（1999.02）認知心理学からみた授業過程の理解 北大路書房 1章 序論 1-6頁 3章 授業過程の理解 33-58頁 8章 授業と個人差の理解 147-165頁
- 丸野俊一（編）（1998.04）シリーズ心理学のなかの論争 [1] 認知心理学における論争 ナカニシヤ出版 第9章 メンタルモデルは「静的」か「動的」か 209-227頁
- 多鹿秀継・竹内謙彰・池上知子・齋藤眞（1997.02）人間行動の心理学 福村出版 1章 人間の行動と心理学 9-19頁 2章 学習と動機づけ 20-31頁 4章 記憶 45-62頁 5章 思考と言語 63-76頁
- 多鹿秀継（1996.09）算数問題解決過程の認知心理学的研究 1-188頁 風間書房
- 中島義明（編）（1996.09）メディアにまなぶ心理学 有斐閣 第5章 情報の操作—思考 71-88頁
- 箱田裕司（編）（1996.02）認知心理学重要研究集 2記憶認知 誠信書房 第1章 エピソード記憶 1-43頁
- 波多野誼余夫（編）（1996.01）認知心理学 5学習と発達 東京大学出版会 第8章 処理速度・容量と問題解決 203-220頁
- 吉田甫・多鹿秀継（編）（1995.09）認知心理学からみた数の理解 北大路書房 序章 認

- 知心理学からみた数の理解 1-10頁 5章 高学年の文章題 103-119頁
- 新しい教育心理学者の会(編)(1995.05) 心理学者教科教育を語る 北大路書房 第二部
算数・数学教育への提言 49-51頁 3 算数文章題の解決 72-81頁
- 岩田純一・梅本堯夫(編)(1995.05) 教育心理学を学ぶ人のために 世界思想社 II 教
授と理解と評価 第2章 教授と学習の方法 99-118頁
- Van Luit, J.E.H. (Ed.) (1994.09) Research on Learning and Instruction of Mathematics
in Kindergarten and Primary School. Graviant Publishing Company (The Netherlands)
Chapter 14 A Cognitive Component Analysis of Arithmetic Word Problem Solving 242-
250頁
- 多鹿秀継(編)(1994.04) 認知と思考—思考心理学の最前線 サイエンス社 1章 認知と
思考 1-10頁
- 小嶋秀夫(編)(1993.04) 発達と学習 協同出版 第5章 学習の基礎過程 106-126頁
- 東洋・繁多進・田島信元(編)(1992.06) 発達心理学ハンドブック 福村出版 68章7節
カテゴリーの発達 1317-1318頁
- 今榮國晴(編)(1992.04) 教育の情報化と認知科学—教育方法と技術の革新 福村出版 2
章 認知心理学と教育過程 24-41頁
- 多鹿秀継・鈴木眞雄(編)(1992.04) 発達と学習の基礎 福村出版 1章 発達と学習の基
礎 11-18頁
- 多鹿秀継・川口潤・池上知子・山祐嗣 (1992.02) 情報処理の心理学—認知心理学入門—
サイエンス社 第1章 序論 1-6頁 第2章 記憶の情報処理 7-59頁
- 太田信夫・多鹿秀継(編)(1991.09) 認知心理学：理論とデータ 誠信書房 第2章 記憶
活動 9-21頁 第3章 記憶測定 22-34頁
- 岩井勇児(編)(1991.05) 発達と学習の心理 福村出版 6章 学習と動機づけ 70-82頁
- 日本児童研究所 (1990.06) 児童心理学の進歩 1990年版 Vol.XXIX 金子書房 第3章
記憶 55-79頁
- 田島信元(編)(1989.06) 心理学キーワード 有斐閣 第3章 学習・認知・思考 44-61頁
- 多鹿秀継 (1989.01) 記憶の検索過程に関する研究 1-250頁 風間書房
- 太田信夫(編)(1988.05) エピソード記憶論 誠信書房 第4章第2節 再生と再認 115-
135頁
- 北尾倫彦・小嶋秀夫(編)(1986.02) 心理学への招待 有斐閣 第7章 学習のしくみ
99-109頁
- 梅本堯夫(編)(1985.04) 教育心理学の展開 新曜社 第3章3-5 再生と再認 117-124頁
- 堀内敏(編)(1984.05) 心理学 [改訂版] 福村出版 第5章 記憶と思考 80-97頁
- 多鹿秀継(訳)(1983.04) 認知心理学のすすめ 1-176頁 Mayer, R.E. (1981) . The

promise of cognitive psychology サイエンス社

堀ノ内敏（編）（1983.03）青年心理学 福村出版 第7章第1節 学習不適應 109-119頁

岩井勇児（編）（1980.10）教育実習ハンドブック 福村出版 第8章 話し方・聞き方
73-78頁

堀ノ内敏・岩井勇児（編）（1980.04）教育心理学 福村出版 第4章第1節 学習理論の発達
54-79頁

堀ノ内敏（編）（1978.11）児童心理学 福村出版 第4章 言語の発達 52-61頁 第5章
記憶の発達 62-70頁

学術論文（レフェリー付き全国誌・国際誌）

Hotta, C., Tajika, H., & Neumann, E. (2017.09). Effects of repeated retrieval on long-term retention in a nonverbal learning task in younger children. *European Journal of Developmental Psychology*, Vol. 14, No. 3, 533-544. Routledge

Hotta, C., Tajika, H., & Neumann, E. (2014.11). Students' free studying after training with instructions about the mnemonic benefits of testing: Do students use the self-testing spontaneously? *International Journal of Advances in Psychology*, Vol. 3, No. 4, 139-143. IJAP

Tajika, H., Nakatsu, N., Neumann, E., Nozaki, H., Kato, H., Fujitani, T., & Hotta, C. (2012.11). Mathematical word problem solving in children engaged in computer-based metacognitive support: A longitudinal study. *Educational Technology Research*, Vol. 35, Nos 1 & 2, 11-19. 日本教育工学会

多鹿秀継（2008.01）メタ認知と記憶－符号化と検索の過程から見たメタ記憶－心理学
評論 第50巻 第3号 243-255. 心理学評論刊行会

Tajika, H., Nakatsu, N., Nozaki, H., Neumann, E., & Maruno, S. (2007.09). Effects of self-explanation as a metacognitive strategy for solving mathematical word problems. *Japanese Psychological Research*, Vol.49, No.3, 222-233. 日本心理学会

Tajika, H., Neumann, E., Hamajima, H., & Iwahara, A. (2005.03). Eliciting false memories on implicit and explicit memory tests after incidental learning. *Japanese Psychological Research*, Vol.47, No.1, 31-39. 日本心理学会

多鹿秀継・濱島秀樹（2002.10）潜在記憶テストと顕在記憶テストによる虚偽の記憶の生成
に与えるイメージ教示の影響 心理学研究 第73巻 第4号 324-331. 日本心理学会

Tajika, H., Nakatsu, N., & Nozaki, H. (2001.10). A longitudinal study of the effects of computer-based diagrams on solving word problems. *Educational Technology Research*, Vol.24, Nos.1 & 2, 1-8. 日本教育工学会

- 多鹿秀継 (2001.01). 情報処理過程としての人間の記憶 人工知能学会誌 Vol.16, No.1, 111-118. 人工知能学会
- 祐木恵美子・多鹿秀継 (2000.06). 潜在記憶テストと顕在記憶テストにおける検索過程の吟味 心理学研究 第71巻 第2号 122-127. 日本心理学会
- Tajika, H., & Sakamoto, M. (1999.12). The effect of self-generated diagrams and question answering on solving ratio word problems. *Educational Technology Research*, Vol.22, Nos.1 & 2, 35-41. 日本教育工学会
- 多鹿秀継 (1999.08). 子どもの潜在記憶の発達 心理学評論 第42巻 第2号 172-184. 心理学評論刊行会
- Collins, S.F., & Tajika, H. (1998.03). Implicit memory tests and instrumental inferences in a second language. *Psychologia*, Vol.40, No.1, 12-19. Psychologia Society.
- Tajika, H., Nakatsu, N., & Ito, T. (1997.12). The effect of relational pictures on solving ratio word problems. *Educational Technology Research*, Vol.20, Nos.1 & 2, 17-23. 日本教育工学会
- Tajika, H., Mayer, R.E., Stanley, D., & Sims, V. (1997.09). Mathematical problem-solving processes of students in Japan and the United States: A cross-cultural comparison. *Psychologia*, Vol.40, No.3, 131-140. Psychologia Society.
- Tajika, H. (1997.03). Recent research on instructional psychology in Japan. 教育心理学年報 第36集 222-234. 日本教育心理学会
- Tajika, H., & Collins, S.F., & Taniguchi, A. (1996.09). Children's instrumental inferences using an implicit memory test. *Psychologia*, Vol.39, No.3, 135-143. Psychologia Society.
- Collins, S.F., & Tajika, H. (1996.05). Do EFL learners make instrumental inferences when reading?: Some evidence from implicit memory tests. *JALT Journal*, Vol.18, No.1, 27-39. 全国語学教育学会
- Tajika, H., Nakatsu, N., & Takahashi, K. (1995.12). Using a computer as an understanding facilitator for solving ratio word problems. *Educational Technology Research*, Vol.18, Nos.1 & 2, 1-7. 日本教育工学会
- Mayer, R.E., Sims, V., & Tajika, H. (1995.06). A comparison of how textbooks teach mathematical problem solving in Japan and the United States. *American Educational Research Journal*, Vol.32, No.2, 443-460. American Educational Research Association.
- Tajika, H., & Taniguchi, A. (1995.04). Instrumental inferences using an implicit memory test. *Japanese Psychological Research*, Vol.37, No.1, 21-28. 日本心理学会
- 多鹿秀継・石田淳一・岡本ゆかり (1994.10). 子どもの算数文章題解決における文章理解の分析 日本教科教育学会誌 第17巻 第3号 125-130. 日本教科教育学会

- Kamiya, S., Tajika, H., & Takahashi, K. (1994.06). Effects of subliminal perception of words in explicit and implicit memory. *Psychologia*, Vol.37, No.2, 72-80. Psychologia Society.
- Mayer, R.E., & Tajika, H. (1993.09). Conducting and comprehending cross-cultural comparison: Reply to Stigler and Miller (1993). *Journal of Educational Psychology*, Vol.85, No.3, 560-565. American Psychological Association.
- 多鹿秀継 (1993.03). 教授・学習研究の動向と課題—教科理解の認知的アプローチ— 教育心理学年報 第32集 79-87. 日本教育心理学会
- Tajika, H., Kamiya, S., & Takahashi, K. (1993.03). Effects of perceptual processing of information in explicit and implicit retention tests. *Psychologia*, Vol.36, No.1, 21-26. Psychologia Society.
- 石田淳一・多鹿秀継 (1993.03). 算数文章題解決における下位過程の分析 科学教育研究 Vol.17, No.1, 18-25. 日本科学教育学会
- 石田淳一・多鹿秀継 (1992.10). 子どもの算数文章題の生成と理解に関する研究Ⅲ 日本教科教育学会誌 第15巻 第4号 139-144. 日本教科教育学会
- Tajika, H., & Neumann, E. (1992.06). Effects of memory test instruction on dissociations between explicit and implicit measures of retention. *Psychologia*, Vol.35, No.2, 76-83. Psychologia Society.
- 石田淳一・多鹿秀継 (1991.06). 子どもの算数文章題の生成と理解に関する研究Ⅱ 日本教科教育学会誌 第15巻 第1号 1-6. 日本教科教育学会
- Tajika, H., Taniguchi, A., Kamiya, S., & Neumann, E. (1991.03). Individual differences in speed of semantic memory retrieval and stroop interference. *Psychologia*, Vol.34, No.1, 28-35. Psychologia Society.
- Mayer, R.E., Tajika, H., & Stanley, C. (1991.03). Mathematical problem solving in Japan and the United States: A controlled comparison. *Journal of Educational Psychology*, Vol.83, No.1, 69-72. American Psychological Association.
- Ishida, J., & Tajika, H. (1990.07). An analysis of children's generating and understanding of arithmetic word problems. 日本教科教育学会誌 第14巻 第3号 95-102. 日本教科教育学会
- Hara, K., Neumann, E., & Tajika, H. (1989.10). Effects of word versus nonword rehearsal frequency on the generation effect. *Psychologia*, Vol.32, No.4, 230-235. Psychologia Society.
- 多鹿秀継・石田淳一 (1989.06). 子どもにおける算数文章題の理解・記憶 教育心理学研究 第37巻 第2号 126-134. 日本教育心理学会
- 多鹿秀継・川上昭吾 (1988.07). 理科教育における先行オーガナイザの効果 第2報—小学校

- 第5学年、花のつくりの学習において— 日本理科教育学会研究紀要 第29巻 第1号 29-37. 日本理科教育学会
- 多鹿秀継・宮下敏昭 (1988.06). 再生と再認における検索過程の計算機モデル 心理学評論 第30巻 第2号 160-187. 心理学評論刊行会
- Tajika, H., Taniguchi, A., Yamamoto, K., & Mayer, R.E. (1988.04). Effects of pictorial advance organizers on passage retention. *Contemporary Educational Psychology, Vol.13, No.2*, 133-139. Academic Press.
- Kawamura, N., & Tajika, H. (1988.03). Individual differences in generating visual mental images. *Psychologia, Vol.31, No.1*, 23-28. Psychologia Society.
- 川上昭吾・多鹿秀継 (1987.09). 理科教育における先行オーガナイザの効果 第1報—中学校 第1学年、花のつくりの学習において— 日本教科教育学会誌 第12巻 第2号 75-80. 日本教科教育学会
- Tajika, H. (1986.12). Influence of study and test trial on recall and recognition memory. *Psychologia, Vol.29, No.4*, 240-246. Psychologia Society.
- 今榮國晴・平田賢一・清水秀美・北岡武・多鹿秀継 (1986.12). 児童生徒のマイコン使用行動の分析 日本教育工学雑誌 第10巻 第4号 13-21. 日本教育工学雑誌刊行会
- Tajika, H. (1985.02). Influence of the encoding instruction on retrieval processes in recall and recognition memory. *Japanese Psychological Research, Vol.26, No.4*, 179-186. 日本心理学会
- Tajika, H. (1982.06). The function of retrieval in recall and recognition memory. *Psychologia, Vol.25, No.2*, 100-106. Psychologia Society.
- 神谷俊次・林博子・加藤正代・大久保義美・多鹿秀継 (1981.09). 子どもの文記憶における手掛りの利用について 教育心理学研究 第29巻 第3号 217-220. 日本教育心理学会
- 多鹿秀継 (1980.12). 再生と再認の記憶における検索属性 心理学研究 第51巻 第5号 259-266. 日本心理学会
- Tajika, H. (1979.09). Memory processes in recall and recognition. *Psychologia, Vol.22, No.3*, 146-154. Psychologia Society.
- Tajika, H. (1978.07). Futures of recognition tasks in encoding specificity: The function of context in recognition tasks. *Japanese Psychological Research, Vol.20, No.2*, 93-100. 日本心理学会
- 多鹿秀継 (1978.02). Encoding Specificity における再認課題の特性—自由連想課題と非言語課題の役割— 心理学研究 第48巻 第6号 344-347. 日本心理学会
- Tajika, H. (1977.09). Feature of recognition tasks in encoding specificity: Types of frequency associates in extralist cue words and types of recognition tasks. *Psychologia,*

Vol.20, No.3, 151-158. Psychologia Society.

Tajika, H. (1976.05). Part-whole transfer in recall learning as a function of organization.

Japanese Psychological Research, Vol.18, No.1, 30-35. 日本心理学会

多鹿秀継 (1976.01). 自由再生における転移の研究 心理学評論 第18巻 第2号 75-91.

心理学評論刊行会

多鹿秀継 (1975.02). 系列リストにおける物語文構成の効果について 心理学研究 第45巻

第6号 324-331. 日本心理学会

大学紀要論文

多鹿秀継・堀田千絵 (2020.03) 算数問題解決を育む心理学の基礎理論とその応用研究の融合 神戸親和女子大学大学院研究紀要 第16巻 9-17. 神戸親和女子大学

多鹿秀継・堀田千絵 (2020.02) 適応的な算数問題解決を促す学習の原理 神戸親和女子大学研究論叢 第53号 27-35. 神戸親和女子大学

Tajika, H., Nakatsu, N., Neumann, E., Kato, H., Fujitani, T., Hotta, C., & Nozaki, H. (2019.03) A longitudinal analysis of children's mathematical word problem solving by using tablet PC-based support for the metacognitive skill known as self-explanation. 神戸親和女子大学大学院研究紀要 第15巻 39-47. 神戸親和女子大学

多鹿秀継・堀田千絵 (2019.02) 女子大学生の記憶力の違いによる記憶方略の効果の認知 神戸親和女子大学研究論叢 第52号 55-67. 神戸親和女子大学

堀田千絵・加藤久恵・多鹿秀継 (2018.12) メタ認知を高める反復検索を取り入れたジグソー学習に基づく授業実践—検索がもたらす二次的効果に注目して— 人間環境学研究 第16巻 2号 37-46. 名古屋大学

多鹿秀継・堀田千絵 (2018.03) 子どもにおける学習方略としての自己テストの役割 神戸親和女子大学研究論叢 第51号 73-84. 神戸親和女子大学

多鹿秀継・中津櫛男・加藤久恵・藤谷智子・堀田千絵・野崎浩成 (2018.03) 児童の算数問題解決を促す思考の分析 神戸親和女子大学大学院研究紀要 第14巻 1-12. 神戸親和女子大学

堀田千絵・多鹿秀継・十一元三・加藤久恵 (2017.09) 境界知能領域にある自閉スペクトラム症児への反復検索学習による支援：保持と出典記憶に及ぼす影響 関西福祉科学大学紀要 第21号 37-45. 関西福祉科学大学

Tajika, H., Nakatsu, N., Neumann, E., Kato, H., Fujitani, T., Hotta, C., & Nozaki, H. (2017.03) A longitudinal study of mathematical word problem solving in children using a computer-based metacognitive strategy. 神戸親和女子大学大学院研究紀要 第13巻 25-33. 神戸親和女子大学

- 多鹿秀継・中津檜男・加藤久恵・藤谷智子・堀田千絵・野崎浩成（2017.03）算数問題解決を育むコンピュータ利用によるメタ認知の活性化 神戸親和女子大学研究論叢 第50号 19-28. 神戸親和女子大学
- 堀田千絵・多鹿秀継・堀田伊久子・八田武（2016.12）知的障害を有する幼児児童生徒の発達を促す教育的指導とその基本原理（1）－自立活動、教科・領域を合わせた指導への具体的活用－ 人間環境学研究 第14巻2号 171-177. 名古屋大学
- 多鹿秀継・中津檜男（2016.03）児童の算数問題解決におけるメタ認知方略使用の活性化 神戸親和女子大学大学院研究紀要 第12巻 1-10. 神戸親和女子大学
- 多鹿秀継・中津檜男・加藤久恵・藤谷智子・堀田千絵・野崎浩成（2016.03）メタ認知方略としての自己説明の特性 神戸親和女子大学研究論叢 第49号 41-51. 神戸親和女子大学
- 堀田千絵・玉井良忠・多鹿秀継（2015.12）特別支援教育の動向を踏まえた知的障害教育における指導法の基本原理－効果的な学習環境をデザインする視点から－ 人間環境学研究 第13巻2号 169-175. 名古屋大学
- 多鹿秀継・中津檜男（2015.03）児童の算数問題解決におけるメタ認知方略使用を支える学習環境の吟味 神戸親和女子大学大学院研究紀要 第11巻 47-56. 神戸親和女子大学
- 多鹿秀継・中津檜男・加藤久恵・藤谷智子・堀田千絵・野崎浩成（2015.03）児童の算数問題解決を育むメタ認知方略の吟味 神戸親和女子大学研究論叢 第48号 1-10. 神戸親和女子大学
- 堀田千絵・八田武志・花咲宣子・堀田伊久子・十一元三・多鹿秀継（2015.01）自閉症スペクトラム障害リスク児への適切な指導のための発達アセスメントーアセスメントシートの作成と活用に関する基礎研究－ 関西福祉科学大学紀要 第18号 15-32. 関西福祉科学大学
- 堀田千絵・多鹿秀継・堀田伊久子・八田武志（2014.12）幼児期からの発達を踏まえた知的障害、発達障害、病弱、肢体不自由児に対する算数の教育課程の創成と効果的な指導法についての事例及び文献的検討 人間環境学研究 第12巻 2号 125-134. 名古屋大学
- 多鹿秀継（2014.03）適応的な学習者を育む学習の原理 神戸親和女子大学大学院研究紀要 第10巻 25-34. 神戸親和女子大学
- 多鹿秀継・中津檜男・加藤久恵・藤谷智子・堀田千絵・野崎浩成（2014.03）児童の算数問題解決とメタ認知方略の評価 神戸親和女子大学研究論叢 第47号 35-45 神戸親和女子大学
- 多鹿秀継・堀田千絵（2013.03）記憶をテストすることによる直接的効果と間接的効果 神戸親和女子大学大学院研究紀要 第9巻 69-78 神戸親和女子大学
- 多鹿秀継・中津檜男（2013.03）算数問題解決に適用されるメタ認知方略の評価 神戸親和女子大学研究論叢 第46号 47-57 神戸親和女子大学
- 多鹿秀継（2012.03）算数問題解決における転移を促すための方策 神戸親和女子大学 大

- 学院研究紀要 第8巻 23-32 神戸親和女子大学
- 多鹿秀継 (2012.03) 日米の子どもの算数問題解決の比較と支援—情報処理アプローチ—
神戸親和女子大学研究論叢 第45号 7-17 神戸親和女子大学
- 堀田千絵・多鹿秀継 (2011.12) 反復検索方略の訓練が記憶成績と学習態度に及ぼす影響
愛知学泉大学・短期大学研究論集 第46号 119-126 愛知学泉大学・短期大学
- Tajika, H., Kato, H., Fujitani, T., Hotta, C., Neumann, E., Nakatsu, N., & Nozaki, H.
(2011.03) Using a self-explanation strategy to solve mathematical word problems. 神
戸親和女子大学大学院研究紀要 第7巻 1-10 神戸親和女子大学
- 多鹿秀継・中津植男・加藤久恵・藤谷智子・堀田千絵・野崎浩成 (2011.03) 自己説明と算
数・数学の問題解決 神戸親和女子大学研究論叢 第44号 97-108 神戸親和女子大学
- 金ヒョヨン・多鹿秀継 (2010.03) 自由放法による非日本語母語話者の漢字知識の分析
神戸親和女子大学大学院研究紀要 第6巻 121-128 神戸親和女子大学
- 多鹿秀継・加藤久恵・藤谷智子・堀田千絵 (2010.03) メタ認知方略を生かした算数問題解
決の研究 神戸親和女子大学大学院研究紀要 第6巻 113-120 神戸親和女子大学
- Tajika, H., Nakatsu, N., Nozaki, H., Kato, H., Fujitani, T., & Neumann, E. (2010.03) How
a metacognitive strategy helps students solve mathematical word problems. 神戸親和女
子大学研究論叢 第43号 97-108 神戸親和女子大学
- 加藤久恵・多鹿秀継・藤谷智子 (2009.09) 新学習指導要領を視座とした算数文章題に関す
る一考察 兵庫教育大学研究紀要 第35巻 159-167 兵庫教育大学
- 多鹿秀継・加藤久恵・藤谷智子 (2009.07) メタ認知方略による子どもの算数問題解決の支
援 神戸親和女子大学教育研究センター紀要 第5号 1-8 神戸親和女子大学教育研究セン
ター
- 多鹿秀継・堀田千絵 (2009.03) 記憶検索における抑制過程の研究 神戸親和女子大学大学
院研究紀要 第5巻 25-32 神戸親和女子大学
- Tajika, H., Hotta, C., Neumann, E., & Nozaki, H. (2009.03) Episodic memory inhibition
and spreading activation: Further evidence of episodic inhibition using the think/no-think
task. 神戸親和女子大学研究論叢 第42号 55-64 神戸親和女子大学
- 多鹿秀継 (2008.03) テストが学習材料の長期の記憶成績に及ぼす影響 神戸親和女子大学
大学院研究紀要 第4巻 57-65 神戸親和女子大学
- 多鹿秀継 (2008.03) 子どもの算数問題解決におけるメタ認知の役割 神戸親和女子大学研
究論叢 第41号 127-136 神戸親和女子大学
- 堀田千絵・多鹿秀継 (2007.03) false memory の結果を説明する理論的枠組み 愛知教育
大学研究報告 第56輯 67-75 愛知教育大学
- 多鹿秀継 (2007.02) 知識の構成から見た加法の概念と技能の発達 愛知教育大学教育実践

- 総合センター紀要 第10号 61-67 愛知教育大学附属教育実践総合センター
- 中津檜男・多鹿秀継 (2006.03) 自己説明を利用した算数の割合文章題の解決支援プログラム 愛知教育大学研究報告 第55輯 155-159 愛知教育大学
- Tajika, H., Nakatsu, N., & Nozaki, H. (2006.02) The effect of self-explanation on solving mathematical word problems. 愛知教育大学教育実践総合センター紀要 第9号 9-16 愛知教育大学附属教育実践総合センター
- Tajika, H., & Nakatsu, N. (2005.03) Using a metacognitive strategy to solve mathematical word problems. 愛知教育大学研究報告 第54輯 1-9 愛知教育大学
- Tajika, H. (2004.03) Differences in mathematical problem-solving skills between Japanese and American children. 愛知教育大学研究報告 第53輯 77-83 愛知教育大学
- 多鹿秀継・中津檜男・他4名 (2004.02) 算数問題解決におけるメタ認知方略の分析 愛知教育大学教育実践総合センター紀要 第7号 19-26 愛知教育大学附属教育実践総合センター
- 多鹿秀継 (2003.03) 心理学からみた知識の構成と教養教育 教養と教育 第3号 1-10 愛知教育大学共通科目委員会
- 多鹿秀継 (2003.03) ディスカッション教育に関する教授・学習プログラムの開発ー算数問題解決を促すディスカッション教育ー 愛知教育大学教育実践総合センター紀要 第6号 15-22 愛知教育大学附属教育実践総合センター
- 多鹿秀継・中津檜男 (2003.03) 知識の構成と学習環境の開発 愛知教育大学研究報告 第52輯 101-108 愛知教育大学
- 多鹿秀継 (2002.03) 算数問題解決に影響を与える知識の吟味 愛知教育大学研究報告 第51輯 53-60 愛知教育大学
- 多鹿秀継・山本克仁 (2001.03) ディスカッションによる算数割合文章題解決過程の研究 愛知教育大学教育実践総合センター紀要 第4号 19-26 愛知教育大学附属教育実践総合センター
- Tajika, H. (2001.03) Effects of computer-based diagrams on solving word problems: A longitudinal study. 愛知教育大学研究報告 第50輯 77-83 愛知教育大学
- 永田靖章・多鹿秀継・平田賢一・岩崎公也・村松常司・川上昭吾 他5名 (2000.03) 現職教員の大学院修士課程における研修意識に関する研究ー愛知教育大学大学院修士課程昼夜開講コースに関する愛知県内現職教員の研究意識ー 愛知教育大学教育実践総合センター紀要 第3号 35-42 愛知教育大学附属教育実践総合センター
- 多鹿秀継・中津檜男・野崎浩成・伊藤俊一 (2000.03) 算数割合文章題の理解と解決を支援するコンピュータ操作による線分図方略の開発 愛知教育大学教育実践総合センター紀要 第3号 27-33 愛知教育大学附属教育実践総合センター

- 多鹿秀継 (2000.03) 子どもの記憶における知識の役割 愛知教育大学研究報告 第49輯 87-93 愛知教育大学
- 多鹿秀継・山本克仁 (1999.03) 割合文章題解決における子どもの学習方略の吟味 愛知教育大学教育実践総合センター紀要 第2号 1-7 愛知教育大学附属教育実践総合センター
- 多鹿秀継・濱島秀樹 (1999.03) 実験室で作りに出された虚偽の記憶研究 I 愛知教育大学研究報告 第48輯 73-79 愛知教育大学
- 多鹿秀継・山本克仁 (1998.03) 算数文章題解決における転移効果 愛知教育大学教育実践総合センター紀要 創刊号 1-8 愛知教育大学附属教育実践総合センター
- Tajika, H. (1998.03) Teaching ratio word problems with computer support. 愛知教育大学研究報告 第47輯 85-90 愛知教育大学
- 多鹿秀継・山本克仁 (1997.03) 子どもの文章題解決過程の吟味 愛知教育大学教科教育センター研究報告 第21号 219-223 愛知教育大学教科教育センター
- 多鹿秀継・柏木恵美子 (1997.03) 潜在記憶の検索過程の吟味 I 愛知教育大学研究報告 第46輯 67-74 愛知教育大学
- 多鹿秀継・鈴木ゆかり (1996.03) 道具を推論する文章題における子どもの知識利用 愛知教育大学研究報告 第45輯 65-72 愛知教育大学
- 多鹿秀継 (1995.02) 算数問題解決過程の分析 愛知教育大学研究報告 第44輯 157-167 愛知教育大学
- Tajika, H. (1994.02) A cognitive component analysis of word problem solving. 愛知教育大学研究報告 第43輯 125-131 愛知教育大学
- 川上昭吾・多鹿秀継・竹内謙彰・高畑泰志・橋本健夫 (1993.03) 子どもの自然概念の認識に関する実証的研究 愛知教育大学教科教育センター研究報告 第17号 225-232 愛知教育大学教科教育センター
- 多鹿秀継・山本克仁 (1993.03) 社会認識を評価するためのイメージマップの位置づけ I - 中学校社会の授業を通して - 愛知教育大学教科教育センター研究報告 第17号 225-232 愛知教育大学教科教育センター
- 多鹿秀継・高橋和弘・中津櫛男・石田淳一 (1993.02) 子どもの問題解決方略と文章題解決の関連 愛知教育大学研究報告 第42輯 85-94 愛知教育大学
- 多鹿秀継・石田淳一 (1992.03) 算数割合文章題の課題分析と解法の過程 愛知教育大学教科教育センター研究報告 第16号 291-298 愛知教育大学教科教育センター
- 多鹿秀継・加藤留美子 (1992.02) 文章理解研究における推論の測定方法の問題 愛知教育大学研究報告 第41輯 111-127 愛知教育大学
- Ishida, J., & Tajika, H. (1991.03) Generation and understanding of arithmetic word problems by fifth-grade children. 愛知教育大学教科教育センター研究報告 第15号 319-

328 愛知教育大学教科教育センター

- 多鹿秀継・山本克仁（1991.03）算数文章題解法に与える文章表現の影響Ⅱ 愛知教育大学教科教育センター研究報告 第15号 263-268 愛知教育大学教科教育センター
- Tajika, H.（1991.02）A two-process model of both recall and recognition. 愛知教育大学研究報告 第40輯 143-153 愛知教育大学
- 川上昭吾・多鹿秀継（1990.03）理科教授における先行オーガナイザの効果 第3報－花のつくりの学習における中学校第3学年生徒の反応、ならびに授業への適用－ 愛知教育大学教科教育センター研究報告 第14号 197-202 愛知教育大学教科教育センター
- 多鹿秀継・山本克仁（1990.03）算数文章題解法に与える文章表現の影響Ⅰ 愛知教育大学教科教育センター研究報告 第14号 181-188 愛知教育大学教科教育センター
- 多鹿秀継・原幸一（1990.02）記憶の生成効果の解釈－再考－ 愛知教育大学研究報告 第39輯 95-116 愛知教育大学
- 多鹿秀継・谷口篤・神谷俊次（1989.02）認知の個人差と発達差（2）－記憶範囲と項目識別スピード－ 愛知教育大学研究報告 第38輯 149-170 愛知教育大学
- 石田淳一・多鹿秀継（1988.03）子どもの算数文章題解決過程の認知論的分析Ⅰ 愛知教育大学教科教育センター研究報告 第12号 271-282 愛知教育大学教科教育センター
- 多鹿秀継・谷口篤・神谷俊次（1988.02）認知の個人差と発達差（1）－意味記憶からの情報検索－ 愛知教育大学研究報告 第37輯 115-138 愛知教育大学
- 多鹿秀継・河村信彦（1987.02）エピソード記憶と意味記憶の区分再考 愛知教育大学研究報告 第36輯 123-138 愛知教育大学
- 多鹿秀継・谷口篤（1985.03）メタ記憶課題の構造 愛知教育大学教科教育センター研究報告 第9号 231-239 愛知教育大学教科教育センター
- 多鹿秀継・谷口篤・山本克仁（1985.02）知識の獲得における先行情報としての図形の質的分析 愛知教育大学研究報告 第34輯 163-173 愛知教育大学
- 多鹿秀継・谷口篤・山本克仁（1984.01）知識の獲得に与える先行情報の影響 愛知教育大学研究報告 第33輯 121-145 愛知教育大学
- 多鹿秀継（1983.01）再生と再認の記憶における検索の過程Ⅶ－教示変数と検索テスト変数の交互作用－ 愛知教育大学研究報告 第32輯 149-162 愛知教育大学
- 多鹿秀継・谷口篤（1982.02）再生と再認の記憶における検索の過程Ⅴ－Encoding specificity principleとその一般性について－ 愛知教育大学研究報告 第31輯 149-164 愛知教育大学
- 吉田淳・多鹿秀継（1981.03）総合学習の構成に関する基礎研究（Ⅰ）－教科間構造に関する一考察－ 愛知教育大学教科教育センター研究報告 第5号 33-43 愛知教育大学教科教育センター
- 多鹿秀継・神谷俊次・林博子・加藤正代・大久保義美（1981.03）子どもの文章記憶に於け

- る手掛り利用の能力に関する研究 愛知教育大学研究報告 第30輯 109-122 愛知教育大学
 多鹿秀継 (1980.03) 再生と再認の記憶における検索の過程Ⅱ－再生と再認に影響を与える
 諸変数－ 愛知教育大学研究報告 第29輯 131-144 愛知教育大学
 多鹿秀継 (1979.03) Part-whole 転移における系列的体制化の役割 愛知教育大学研究報告
 第28輯 93-107 愛知教育大学
 多鹿秀継 (1978.03) Whole-part 転移における体制化の機能 愛知教育大学研究報告 第27
 輯 79-91 愛知教育大学

その他の学問的活動

- 多鹿秀継 (2015.07) 小学生の算数文章題の解決過程 心理学ワールド 70号 13-16頁
 日本心理学会
 多鹿秀継 (2013.12) 知識獲得としての学習 「多文化的背景をもつ子どもへの学習支援に
 関する発達心理学的研究－文脈間の連続性／非連続性に注目して－」 研究プロジェクト報
 告書 1章 1-14頁 東京学芸大学国際教育センター
 多鹿秀継 (2013.11) 書評「フォスター, J.K. (郭哲次 (訳)) (2013). 記憶 星和書店」
 図書新聞 3132号 3頁
 多鹿秀継 (2011.07) 知識の表象と構成過程 教育研究 第66巻・第8号 40-41頁 初等教
 育研究会
 寺尾敦・多鹿秀継 (2010.06) 誌上討論「学校教育と認知科学」の編集にあたって 認知科学
 17巻 349-350頁
 多鹿秀継 (2010.06) 中学年の発達段階におけるの思考力・表現力とは 新しい算数研究
 6月号 473号 4-7頁 新算数教育研究会
 多鹿秀継・森岡正芳・三宮真智子・加藤久恵・湯澤正通・丸野俊一・藤谷智子 (2010.03)
 メタ認知を育む学習指導 教育心理学年報 第49集 33-36頁
 寺尾敦・多鹿秀継 (2009.09) 特集「学校教育と認知科学」の編集にあたって 認知科学,
 16巻, 265-280頁
 内田伸子・宗我部義則・中村敦子・大下朋子・秋田喜代美・三宮真智子・多鹿秀継・市川伸一
 (2009.03) 「言語力－考える力を育むことばの教育－」 教育心理学年報 第48集 203-
 225頁
 岡直樹・多鹿秀継・林龍平・永松裕希・大野精一 (2009.03) 「教師を目指す学生に心理教
 育的援助サービス実践のための力量をいかに育成するか」教育心理学年報 第48集 50-54頁
 多鹿秀継 (2008.12) メタ認知の働きで記憶が変わる 現代のエスプリ 第497号 68-77頁
 至文堂
 多鹿秀継・中津櫛男 (代表) (2006.03) 「子どもの算数問題解決と転移を促す知識の構成の分

- 析と支援に関する研究」平成15-17年度科学研究費補助金（基礎研究（B）（2））研究成果報告書
- 多鹿秀継（2004.04-2005.03）認知心理学から見た算数授業へのヒント 楽しい算数の授業 No.236-247 明治図書
- 多鹿秀継（2002.07）「認知科学辞典」（日本認知科学会編）の項目執筆（「学習」の項目の編集委員） 共立出版
執筆項目：「累加」、「一試行学習」、「過剰学習」、「学習曲線」、「学習のかまえ」、「転移」、「移行学習」、「逆転学習」、「学習」、「ストラテジ選択」、「ストラテジ発見」、「学習の学習」、「学習のメカニズム」、「過度の規則化」、「既有知識」、「先行オーガナイザ」、「認知的所産」、「内容的知識」、「学習活動」
- 多鹿秀継・坂本美紀・丸野俊一・杉本卓・奈須正裕・北尾倫彦・並木博（2002.03）「学習環境をデザインする」教育心理学年報 第41集 8-9頁
- 多鹿秀継（代表）（2002.03）「ネットワークを利用した教員養成系学部のための情報教育教材の開発」平成13年度科学研究費補助金（特定領域研究（A）（2））研究成果報告書
- 多鹿秀継（代表）（2001.03）「算数文章題の理解と解決を支援する学習方略の開発と転移に関する縦断的研究」平成10-12年度科学研究費補助金（基礎研究（C）（2））研究成果報告書
- 多鹿秀継（2000.11）「青年心理学事典」（久世敏雄・斎藤耕二監修）の項目執筆
執筆項目：「記憶力」、「メタ認知」 福村出版
- 多鹿秀継（2000.06）「教育工学事典」（日本教育工学会編）の項目執筆
執筆項目：「学習の階層モデル」、「学習の理論」、「観察学習」、「記憶」、「集中／分散学習」 実教出版
- 多鹿秀継・岡本ゆかり・東原文子・銀島文・丸野俊一・日野圭子（2000.03）「子どもの数感覚を育むー教育心理学と算数・数学教育の連携ー」教育心理学年報 第39集 24-28頁
- 多鹿秀継（代表）（2000.03）「「教育の方法及び技術」の授業スキル訓練プログラムの開発研究」平成10・11年度教職課程における教育内容・方法の開発研究（カリキュラム開発研究）事業報告書
- 多鹿秀継（代表）（1998.03）「算数問題解決過程の下位分析と解決方略の支援に関する実証的研究」平成8・9年度文部省科学研究費補助金（基礎研究（C）（2））研究成果報告書
- 多鹿秀継（代表）（1995.01）「ハイパーメディアを利用した算数・数学の問題解決過程の分析とモデル化の試み」平成5・6年度文部省科学研究費補助金（一般研究（C））研究成果報告書
- 多鹿秀継（1995.01）「発達心理学事典」（岡本夏木他監）の項目執筆 ミネルヴァ書房
執筆項目：「検索」、「再生」、「再認」、「長期記憶」、「符号化特殊性」、「プライミング」、「リハーサル」

- 多鹿秀継 (1994.11) 上手に憶えるには 教育と医学, 第42巻, 第11号 慶応通信
- 多鹿秀継 (1993.07) 「現代学校教育大事典」(奥田真丈他編)の項目執筆 ぎょうせい
執筆項目:「意図的学習」、「意味記憶」、「エピソード記憶」、「感覚記憶」、「記憶術」、「記憶方略」、「機械的学習」、「催眠学習」、「長期記憶、短期記憶」、「転移」、「リハーサル」
- Ishida, J., & Tajika, H. (1992.07) Generating and understanding arithmetic word problems by fifth graders. *Social, Educational, and Clinical Psychology, Vol.3* (Erlbaum).
- Tajika, H., & Ishida, J. (1992.07) Children's understanding of and memory for arithmetic word problems. *Social, Educational, and Clinical Psychology, Vol.3* (Erlbaum) .
- Tajika, H., Kamiya, J., & Takahashi, K. (1992.07) Effects of perceptual processing of information in explicit and implicit retention tests. *International Journal of Psychology, Vol.27*.
- 多鹿秀継 (1991.09) 「教育心理学小辞典」(三宅和夫他編)の項目執筆 有斐閣
執筆項目:「学習適性」、「学習の適時性」、「記憶術」、「記憶の検索」、「最適化」、「符号化」、「プライミング」、「プロンプティング」、「無意味綴り」
- 多鹿秀継 (1990.07) 「新教育学大事典」(細谷俊夫他編)の項目執筆 第一法規
執筆項目:「ATI」、「偶発学習」
- 多鹿秀継 (1989.08) 論理的思考力を育てる活動・遊び 悠, 第6巻, 8号. ぎょうせい
- 多鹿秀継 (1987.02) 記憶における個人差 教育と医学, 第35巻, 第2号. 慶応通信
- 多鹿秀継 (1987.02) 情報処理能力としての知能 AIジャーナル
- Tajika, H., Miyashita, T., Mayer, R. E. (1986.11) Recall and recognition model based on the principle of encoding specificity. 日本認知科学会テクニカルレポート・第2号 (日本認知科学会)
- 多鹿秀継 (1984.01) 第7回認知科学会に参加して 日本認知科学会ニューズレター4号
- Tajika, H. (1984.06) Recognition and recall: The direct comparison experiment. *Behavioral and Brain Sciences, Vol.7, No.2*. (Cambridge University Press)
- 多鹿秀継 (1984.05) 再生と再認における検索過程の研究 京都大学教育学博士論文
- 高橋超・多鹿秀継 (1984.03) 修士号取得者の処遇についての意見 大学院の夜間開講による社会人受け入れ体制の開発 第2号 (愛知教育大学生涯教育研究会)
- 多鹿秀継 (1984.01) 夕方開講大学院への入学 大学院の夜間開講による社会人受け入れ体制の開発 第1号 (愛知教育大学生涯教育研究会)
- 多鹿秀継・吉田淳 (1981.01) 総合カリキュラム開発に関する意識調査 (I) -アンケート調査の概要- SCOPE IX号
- 松田惺・高橋超・中野靖彦・多鹿秀継・松下淑 (1979.03) 教育実習・事前指導におけるモ

デル授業フィルム提示の効果 教育実習・事前指導改善に関する研究 第3号（愛知教育大学教育実習・事前指導改善研究会）

松田惺・高橋超・中野靖彦・多鹿秀継・松下淑（1978.03）教育実習経験の有無による授業過程把握様式の差異 教育実習・事前指導改善に関する研究 第2号（愛知教育大学教育実習・事前指導改善研究会）

松田惺・高橋超・中野靖彦・多鹿秀継・岩井勇児・松下淑（1977.03）教育実習未経験学生におけるモデル授業の観察様式に関する探索的研究 教育実習・事前指導改善に関する研究 第1号（愛知教育大学教育実習・事前指導改善研究会）